

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902546		
法人名	有限会社ノースランド企画		
事業所名	グループホーム 春光		
所在地	旭川市春光5条6丁目5番20号		
自己評価作成日	令和7年2月13日	評価結果市町村受理日	令和7年3月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&JigyosyoCd=0172902546-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和7年2月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム 春光は、閑静な住宅街の一角にあり、目の前には、春光園という大きく広々とした公園があり夏にはグリーンコンサート、盆踊りなど様々なイベントで賑わいをみせてます。又、保育園、小学校なども近くにあり登下校の際には愛くるしい姿を見せてくれます。日々の体調管理は、医療法人との連携により、安心して過ごして頂ける環境の元、体調不良時や急変時などにも迅速に対応できるよう努めています。建物の裏には、広い畑があり野菜や果物が実り、利用者様の楽しみの一つとなっております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

系列運営法人の病院・各種介護事業所が集合しているエリアから車で数分の距離に位置する、開設19年目1ユニットのグループホームである。当事業所は鉄骨コンクリート造2階建て1階にあり、2階が有料老人ホームとなっている。合同避難訓練の実施や馴染みとなった利用者同士が階を互いに行き来した交流も支援している。斜め向かい側には春光園という樹木や池、野外彫刻作品の展示もある大きな公園がある。お祭り、コンサート等、催しのある市民憩いの場でもあり、利用者も散歩や散策以外にイベントへ参加するなど、戸外で地域の方々と触れ合い楽しめる大変至便な環境にもある。裏の広い畑での作業も可能な利用者が携わり、メロンも育て食卓を賑わしている。系列運営法人医療機関と連携した医療支援の充実や看取り支援体制を整え、資格取得支援により職員4名が喀痰吸引等の研修を受け資格取得に至っている。今年度着任した管理者は職員と共に利用者と家族の個々の要望等に応じた丁寧な支援に努め、本人を共に支え合う家族との関係に力を注ぎ、当調査に係る家族アンケートへも感謝の意が伝えられている。利用者の生活歴や趣味を活かし、レクリエーションに反映させることもある。要介護度が高かった利用者が利用開始後に歩行状態が安定し自立排泄も可能となって穏やかな生活を取り戻した事例もある。個人の主体性や生活リズムに合わせ、ゆったりと安らげる時間、安心できる生活を支えている事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念の共有の為、引継ぎの時間を利用し理念を復唱して周知している。	運営理念と4項目からなるケア理念を標榜し、パンフレットへの明示や事業所内要所へ掲示している。申し送り時に理念を唱和し、日々の支援への意識づけや共有に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	徐々にではあるが、町内でのお祭りなど短時間ではあるものの参加し交流に努めている。	町内会に加入し、回覧板で地域の情報を得ている。資源回収の協力や、町内グリーンコンサート鑑賞、夏祭りの盆踊りに参加している。退居した利用者の家族からウエスの寄贈を受けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通して伝えるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は書面にての開催となっており、電話やファックスにてご意見を頂き活用出来るように努めている。	運営推進会議は、書面開催で実施しており、書面開催時における市の規定に則り運営している。地域行事の参加や避難訓練等についての意見やコメントを得ている。内容はその都度、議事録に記載し構成委員へ送付している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	提出物や申請時など直接足を運んで分からない事などしっかりと確認するようにしている。	市の指導監査課とは、運営に係る不明な点があれば電話で質問等を行い指導を得ている。管理者は、運営推進会議議事録を直接、市の担当部署へ届けている。運営推進会議に市の地域支援係担当者の協力を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティングの際、定期的に勉強会を行い、職員の理解度を都度確認している。	身体拘束等の適正化のための指針を定め、身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会を定期に開催している。年2回これらに係る内部研修を実施し、「実際にミトンをはめミトンについて考える」等を学んでいる。現在、身体拘束は行っていない。内玄関は夜間帯のみ、外玄関は24時間施錠しているが利用者の外出を制限するものではない。	①指針に定めている、身体拘束発生時の対応に関する基本指針に係る書式の整理に期待したい。②委員会会議録の整理に期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に勉強会を行い、虐待防止と、早期発見ができるように努めている。		

グループホーム春光

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	資料など目を通した事はあるが、学ぶ機会までには至ってない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、しっかりと説明をし、不明な点については確認後再度お伝えするようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置しており、その他ご家族来訪時や、遠方のご家族の方などは、電話の際にご意見、ご要望を伺うように努めている。	利用者からの「盆踊りに行きたい」などの要望に応えたり、ふりかけや海苔の佃煮などの食事に関する個別の希望も家族と協力し対応している。「外出や買い物レクリエーション時に同行したい」等の家族からの個別の要望にもその都度、連絡調整し応じている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングにて、意見を伺う時間を設け運営に反映できるように努めている。	管理者は人事考課に係る面談や必要時に職員と話す機会を設けている。毎月ミーティングを開催し職員と意見交換や情報共有している。系列法人から届く病院研修案内を提示し希望の研修が受けられるようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回人事考課を実施、面談を行い評価している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修など、積極的に参加していただくように勧めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	関連施設のみで、他事業者さんと交流する機会はほとんどない。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人やご家族さんの希望を伺い職員間で情報を共有し、安心して生活できるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族さんに寄り添い、少しでも不安や、困っている事など伺いながら信頼していただける関係を築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としているサービスについて、提供できるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食器拭き、リネン交換、掃除など出来る範囲で協力し合っており共に生活する関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のお手紙や、お電話にて本人の施設での状況をお知らせし、状況にあった支援をご家族さんにもお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族のご協力を頂きながら外出や、以前2階で共に過ごされた利用者さんとの交流の場面を作っている。	家族面会を再開し面談室で対応している。電話の取り次ぎや必要者へは手紙を代読している。家族と買い物や一時帰宅する利用者もいる。2階有料老人ホーム居住の馴染みの方と行き来し合える環境にある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや、行事、お誕生日会など参加して頂き円滑な関係を作る様に心がけている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もウエスなどのご協力をして下さるご家族さんがいる、その際感謝をお伝えし、近況の状況をお互い伝えている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人やご家族さんからの思いや、希望を聞き取り出来るだけ寄り添える様に努めている。	利用者から直接、要望や意向を聞き取ったり、生活歴と日常の様子から本人の好む環境等を把握している。言葉での表出が難しい場合の一例では、食事介助時に顔をしかめたり口を開けないなどの表情や状態から思いを汲み取り、本人本意を検討し把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの暮らし方、生活環境をご本人、ご家族さんに伺い生活の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	引継ぎでの報告や、個人記録、その日の様子にて、その後のケアに対応出来るよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランに沿ったケアを心がけ、必要に応じ、ご本人、ご家族の要望に応えられるようプランの更新をしている。	センター方式とフェイスシート(課題分析)を用い、新たな介護計画策定ごとにアセスメントしている。個人記録は短期目標にそった記録に努めている。利用者の困り事と本人がしたい暮らしに焦点を当て、介護計画を策定している。	①サービス計画書の1表へ、利用者及び家族の生活に対する意向の記載に期待したい。②支援の成果等を明確に文言表記するなど、モニタリングの精度を高める事に期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿って記録の記入を行い引継ぎ時に情報の共有をすることによって良いケアに繋がるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪看や提携病院の送迎により負担なく病院の受診が出来る。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の公園での散歩以外はほとんど行えていない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人や、ご家族の希望される医療機関を受診している。	協力医療機関(主治医)による月2回の訪問診療と必要時の歯科の訪問診療、週1度、看護師による健康管理支援の体制を整えている。他科受診は家族対応が基本であるが、必要に応じて事業所に対応している。受診・往診記録を整備している。	

グループホーム春光

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	特変時など訪看が来られた際に状態を伝え指示を頂いている、緊急時など電話にて指示、又は訪看が来てくださる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	情報交換をとりスムーズに入退院が出来ている。他病院からの転医にも協力的に対応していただいている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りの支援があり、ご入居時に意向確認書に記入して頂いている。	利用契約時に「重度化した場合における対応に係る指針」を説明し同意を得ている。医師の判断により、家族、関係者間で協議し今後の方針を取り決めている。この1年では看取りの実際は無く、家族の意向で系列運営法人の病院への移行支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員救命救急の指導を受け、また協力医の指示を仰いでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回日中、夜間帯を想定した自衛消防訓練を実施している。	年2回昼夜を想定した火災避難訓練を防災設備会社の立ち会いの下に、2階有料老人ホームと合同で実施している。災害備蓄品を確保し、運営推進会議を通じ、災害時における地域協力を要請している。自然災害発生時における業務継続計画(BCP)を策定している。	①地震想定訓練に期待したい。②トラッキング現象予防対策について期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者さんの人格や性格、プライバシーを尊重するように心がけ対応出来るように努めている。	職員同士の会話や記録ファイルは、個人が特定されないようイニシャルを用いて対応している。接し方で気になることがあった時は、ミーティングで話し合い共有し、時には管理者から指導を行う事もある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者さんの希望を受け止め自己決定が出来る様に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調や気分に合わせて、その日に合った支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者さんの着たい服を選んでもらったり、髭剃り、クシで髪をとかすなどその人らしいおしゃれの支援を行っている。		

グループホーム春光

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	肉禁、魚禁などの代替への対応、見た目でも楽しんでいただけるように盛り付けの工夫をしている。	昼・夕食は厨房の配食で、朝食は事業所内調理である。利用者の嫌いな物は代替え献立で対応し、家族の好物差し入れもある。誕生会は利用者と一緒にケーキを作り、日常の片付けやお祭りたみ、おやつ作りに参加を促している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量を記録に残し、状況に応じた支援が行えるよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に合ったケアを行い口腔内の清潔を保持している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排尿の時間を把握して、出来るだけトイレにて排泄出来るように支援している。	利用者の生活リズムに合わせ声かけや2人介助によりできるだけトイレでの排泄を支援し、頻尿の方には好きな物に集中する支援で改善が見られる。夜間は利用者の状況により排泄用品交換等の介助をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量に気を付け、出ない日が続く場合は主治医などに相談して指示を頂いている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日は決まっているが、本人の希望や体調を優先させた支援を行っている。	入浴の曜日を定め、週2回、入浴している。利用者の気の向く時間帯や湯温の希望に応え、体調によりシャワー浴を支援している。入浴は職員と1対1の対応となるため利用者は会話も楽しみとなっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人1人にあった生活習慣やリズムに合わせた支援を提供している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人記録に処方箋をはさめておりいつでも確認出来るようになっている。処方があれば確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	趣味など確認し、レクの際に繋げれる場合は積極的に行うように支援している。		

グループホーム春光

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩程度の外出をしている。	近所には公園があり、夏季はほぼ毎日散歩や外気浴を行い、ベンチに座り会話や写真を撮り楽しんでいる。公園での盆踊りやグリーンコンサート、また、近くにはコンビニエンスストアがあり、職員と一緒に日常の買い物に出かけることもあり、利用者が外出したい時に外出できる支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預り金などで希望のものを職員が購入、1名個人で現金を所持しており、時々職員とコンビニに買物に行かれる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に添い、支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節や行事に合わせ壁紙の飾りも変更し、家庭的な環境に努めている。又、デイルームに温度計、湿度計があり過ごしやすい環境に保たれるように心がけている。	夏季はエアコン冷房が全体に行き渡るよう扇風機を配置し、冬季は乾燥を防ぐよう濡れタオルで保湿するなど、共有スペースの環境調整に配慮した対応をしている。窓の外にバードテーブルがありバードウォッチングができるようソファが配置されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自席の他に、ソファなどもあり、各自好きな居場所ですぐ過ごせるように支援している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自室では馴染みの物など持参して頂き今までの暮らしと近い状態で過ごして頂けるように工夫している。	利用者は今まで使っていたタンスや1人用椅子など馴染みの物やテレビを持参し、居室は各々の好みで動物の写真やぬいぐるみが飾られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全の配慮として、自室内の物の配置に気を付けて安心して部屋で過ごせるように支援している。		